

契約当事者市町別の相談件数

令和3年度（令和3年4月～令和3年6月）

市町名	R3年度件数	R2年度件数	増減	対前年度比	市町名	R3年度件数	R2年度件数	増減	対前年度比
津市	103	135	-32	76.3%	朝日町	9	5	4	180.0%
四日市市	43	75	-32	57.3%	川越町	9	6	3	150.0%
伊勢市	22	26	-4	84.6%	多気町	7	11	-4	63.6%
松阪市	39	53	-14	73.6%	明和町	12	14	-2	85.7%
桑名市	27	34	-7	79.4%	大台町	3	6	-3	50.0%
鈴鹿市	37	39	-2	94.9%	玉城町	6	10	-4	60.0%
名張市	12	29	-17	41.4%	度会町	0	3	-3	0.0%
尾鷲市	2	2	0	100.0%	大紀町	2	2	0	100.0%
亀山市	11	15	-4	73.3%	南伊勢町	6	3	3	200.0%
鳥羽市	6	1	5	600.0%	紀北町	6	2	4	300.0%
熊野市	4	10	-6	40.0%	御浜町	3	5	-2	60.0%
いなべ市	19	14	5	135.7%	紀宝町	5	3	2	166.7%
志摩市	13	15	-2	86.7%					
伊賀市	24	15	9	160.0%	県内不明	6	24	-18	25.0%
木曾岬町	5	1	4	500.0%	県外・不明	22	30	-8	73.3%
東員町	6	4	2	150.0%					
菰野町	16	19	-3	84.2%	合計	485	611	-126	79.4%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、鈴鹿市、桑名市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。